

県リハだより (医療センターだより)

No. 15
2022.1.17

名称変更のお知らせ

地域の皆様には長年「県リハ」の愛称で呼ばれていることから「医療センターだより」を2022年1月発行の15号より「県リハだより」と変更いたしました。
今後とも愛読のほど、よろしくお願いいたします。

新年のご挨拶

広島県立障害者リハビリテーションセンター

所長 安 永 裕 司
(広島県福祉事業団 副理事長)



新年明けましておめでとうございます。令和4年(2022年)が始まりました。令和2年から2年間、新型コロナウイルスによるパンデミックにより、世界中が振り回されました。昨年末より、日本では感染者数も減少し、3回目のワクチンや治療薬の開発などでやっと光が見えてきたように感じます。このまま、日本のみならず世界が新型コロナウイルスの脅威から脱出できることを祈るばかりです。

パンデミックによる行動制限からオンラインでの就業、会議および講義の手法が発展し、従来のオンサイト形式によるものとの比較ができ、それぞれの長所と短所が明らかとなり、新しい社会様式が今後生まれることでしょう。

八本松のわかば療育園のリハセンターへの統合のための新築工事も終わり、次の計画である若草園と2病棟の改装工事のために、1月から10月まで2病棟は閉鎖されます。さらに若草療育園の改装が終了後の令和6年の春には、医療センター(1、2病棟、高次脳機能センター:160床)、若草園(60床)、若草療育園(60床)、わかば療育園(60床)の計340床の病院として生まれ変わります。建物が新しくなってもそれに“魂”を入れるのは私たち職員であり、これから2年余りの期間で新しい体制のための病院機能の改革やそれぞれの専門職の知識と技能の獲得に努めなければなりません。

現在の広島安佐南区長楽寺に生まれ、明治時代の初頭に医師となり、医学史、医療倫理と臨床宗教の分野で功績を残した富士川 游先生は、「病気を診るのではなく、病人を診なければならぬ」と述べています。因みに富士川先生は、大正7年に広島で障害児を収容する“広島修道院”や昭和7年には“養神館”の設立に寄与しています。

血小板や細菌性心内膜炎の研究で有名な北米の医師、ウィリアム オスラーは「医学は科学に基づいたアート(技術)である」と述べ、同じ病気であってもその患者さんに合った治療が重要であることを強調しています。

患者さんに安全で確実な医療を提供することは病院の最低限の責務であり、さらに障害児・者の治療を行う当院では、患者さんに寄り添った“心”のある医療と福祉も求められ、職員ひとりひとりがそれを自覚し、より一層の精進が望まれます。

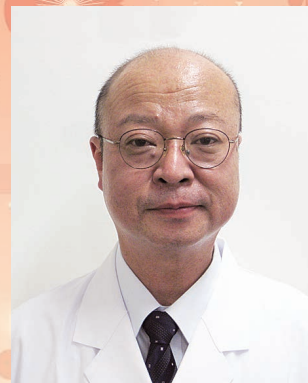
広島県立障害者リハビリテーションセンター

〒739-0036 東広島市西条町田口295-3番地 発行責任者: 鈴木修身(医療センター長)

TEL (082)425-1455 FAX (082)425-1094 <https://www.rehab-hiroshima.org>

新年のご挨拶

広島県立障害者リハビリテーションセンター
医療センター長 鈴木修身



明けましておめでとうございます。令和4年の新しい年を、皆様とともに迎えることができましたことを、心よりお喜び申し上げます。

一昨年、昨年の2年間は私達のような医療従事者のみならず、経済の分野でも、学校教育の現場でも、全ての人が新型コロナウイルスに翻弄され大きな打撃を受けました。行動の制限やワクチン接種などの努力により、状況は改善しつつあります。しかし変異株は今も出現し、努力が要求される状態がいましばらく続きそうです。

その中で明るい話題のひとつは、当リハビリテーションセンター内に立派な新棟が昨年末完成したことです。2年後にはわかば療育園を迎え入れますが、その前に若草園、若草療育園を一時的に収容し、旧棟の改修工事が開始されます。その中で医療センターの第2病棟が約1年間閉鎖となることはたいへんさびしいことではありますが、スタッフはその間他部署への応援やこの期間を利用して研修を行う予定です。当リハビリテーションセンターにとって、ステップアップの時期となることを期待しています。

今年の干支（えと）では寅ですが、壬寅（みずえのとら）に当たるそうです。壬寅には「厳しい冬を乗り越え、新しいステージを迎える準備段階の年」という意味があるそうです。まさにそうなってほしいと願い、皆様のご健勝をお祈りして新年のごあいさつとさせていただきます。

医療型障害児入所施設整備事業について

令和3年1月より在宅重症心身障害児（者）への支援の強化と療育環境の改善を目的とし、若草園、若草療育園の改修・増築など、「わかば療育園」の「県立障害者リハビリテーションセンター」移転・統合する工事に着手いたしました。

昨年末にわかば棟が完成し、今年は若草園の改修・増築工事に取り掛かる予定となっております。さらに翌年は若草療育園の改修を行い、全ての工事完了は令和5年度末の予定となっております。



▲わかば棟（内観）



▲わかば棟（外観）

医療センターの

コロナウイルス感染症対策

当センターでの新型コロナウイルス感染症対策への取り組みについて説明します。

当センターでは広島県の新型コロナウイルス感染症対策に準じ、独自のステージを設定し、感染制御チーム等で定期的な会議を設け少しでも利用者にストレスの掛らない対策を心がけております。

まず、入院・外来患者さんの訓練室を分け導線が交わらない工夫や、入口での検温、健康チェック、入口の1本化、入院時の抗原検査及びPCR検査等をどのステージで実施するか細かく設定し、全国・広島県及び東広島市の動向を見ながら協議し、ステージの変更を行っています。多くの施設が面会禁止にしている時期においても、協議を重ね入院患者のストレスを少しでも軽減できるよう制限の緩和に努めています。職員についてはスタンダードプリコーションの厳守や個々の健康チェックを推奨し、蔓延防止に取り組んでおります。職員一同患者様や地域の皆様とともにこの難局を乗り越えるべく一層の努力をしていきたいと思っております。



ステージ表 例

ステージⅡ（感染漸増） 業務一部変更	
項目	内容
院内研修	オンラインの研修を活用 可能な限り中止（地域の流行状況参照） 収容定員の半分以上の参加人数にすること
面会	家族2名まで15分、 主治医が必要と認めたもの（例えば行政関係者など） 広島県のホームページ上で注意喚起を行っている地域は禁止 ① 2週間以内に流行地域の渡航または移住歴のある方 ② 2週間以内に新型コロナウイルス感染者と濃厚接触歴のある方
外出、外泊	主治医が必要と認めたもの （不要不急のものは控える）
入口での検温	可能であれば実施
リハビリ	外来及び入院の導線及び担当者を区別する （理学、作業、言語） 広島県のホームページ上で注意喚起を行っている地域は中止
実習生	健康管理を行い受け入れ



ステージⅢ（感染急増） 業務制限（改訂）

項目	内容
院内研修	オンラインの研修を活用 可能な限り中止（地域の流行状況参照） 収容定員の半分以上の参加人数にすること
面会	面会禁止 主治医が必要と認めた者（行政の職員など）
外出、外泊	原則禁止（主治医が必要と認めたもの） （不要不急のもの以外は控える）
入口での検温	実施
リハビリ	外来及び入院の導線及び担当者を区別する （理学、作業、言語） 広島県のホームページ上で注意喚起を行っている地域は中止
実習生	原則中止
業者	病院機能を維持する為必要な業者のみ



名称を変更しました



令和3年4月1日より「総合相談室」を「地域医療連携室」に変更しました。

より地域に開かれた病院を目指して、医療機関や福祉施設との情報交換を図り、地域からの紹介患者さんの受け入れを円滑に努めていきます。さらに、必要に応じて医療サービスや介護・福祉サービス等を調整し、患者さんが安心して地域で生活を送れるように支援いたします。また、医療や福祉に関する相談事業についても、より一層充実を図っていきます。

地域の実情や一人ひとりの患者さんに合わせて、様々な領域の専門機関やそのスタッフが組織の枠を超えて「チーム」になって関われるように、スタッフ一同自己研鑽に努めていきますので、ご指導よろしくお願いいたします。



令和3年度 外来担当表

(1月1日現在)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
整形外科	黒瀬 安永 宮下 鈴木 當天 志村	水関 花岡 森田	安永 鈴木 泉 増田	黒瀬 水関 増田 山里 志村	宮下 當天 泉 花岡 森田
小児整形	志村			志村 (午後予約)	
リウマチ科	鈴木	水関	鈴木	水関	-
高次脳機能科 神経内科	近藤・大林 近藤	大林 大林	近藤・大林 近藤	近藤・大林 近藤・大林	大林・上村
小児科	澤野	石原 玉田	須藤 富岡	澤野 須藤	玉田
歯科	古胡	古胡	古胡	古胡	古胡・香川 古胡・香川
泌尿器科	薄井		薄井	薄井	薄井

※担当医は都合により変更することがあります。
※水関医師については完全予約制となります。
※詳しくはHPをご覧ください。



交通案内

■「JRバス」利用の場合

JR 西条駅から「黒瀬町市飯田・呉市」行き乗車。
「県立西条農業高等学校前」停留所で下車。
停留所から約1kmです。

■自動車の場合

山陽自動車道西条インターチェンジから
国道375号線を呉方面に車で約20分、
「西農前バス停」交差点を右折して約1kmです。

●お問い合わせ先●

広島県立障害者リハビリテーションセンター
医療センター

〒739-0036 東広島市西条町田口295-3番地
電話 (082)425-1455(代表)
FAX (082)425-1094
URL <https://www.rehab-hiroshima.org/>

